

愛知・ロッキーオート  
昭和47年式フェアレディZ HLS30改

## INTERIOR



↑室内は国内で言う軽量ボディの初陣型の内装に近い物が採用されているのが初期 HLS30 の特徴でもあるが、細かい部分、ウインカーレバーなどは国内仕様とは違う。しかしトランクルームは一統。ちなみに四角いスピーカーは後付けのもの。シートは基本的にオリジナルの物。この雰囲気を大切に室内マイクしているのが分かる



オリジナルの雰囲気を残し、アメリカン的な味を出しているのが分かる室内。ウッドステアリングもその一つ。もちろん状態はとても良く、このまま乗っていても全く支障ないし、シートも自分の気に入った物に交換するのもいいだろう

エンジンを始動すると…それは…  
乗り慣れた右ハンドルのS30から左ハンドルのS30のシートに座ると言つだけでも別物のクルマといつ感じだけど、座つてしまえばそこはやはりS30。しかも貴重な初期モードルの内装だから、その簡素さの中にもエレガントさのある雰囲気はやはり魅力的。しかし、メーターに目をやると最新式のメーターに交換されているので、そのポテンシャルがたたずではないと訴えが伝わってくる中、キーを回しエンジンを始動。すぐさま冷ましたエンジンは、紛れもなく「アメリカンV8サウンド!!」しかし「ドロップドロップ」という重さは感じなく、多少軽快に感じるのはマフラーのせいかな?

これが今回紹介するアメリカンV8を搭載したモードル。本家アメリカではS30に換装しているのはよく見かけるけど、そのまま逆輸入ではなくこちらで製作したV8 in S30。では、早速試乗してみることにしよう。

さりげなく電動パワステも装着。車庫入れにも全く重さを感じないが、軽すぎても駄目使い勝手はよい

## 電動パワステ

**ボンモノ NISSAN FairladyZ HLS30 72年式 逆車240Zに**

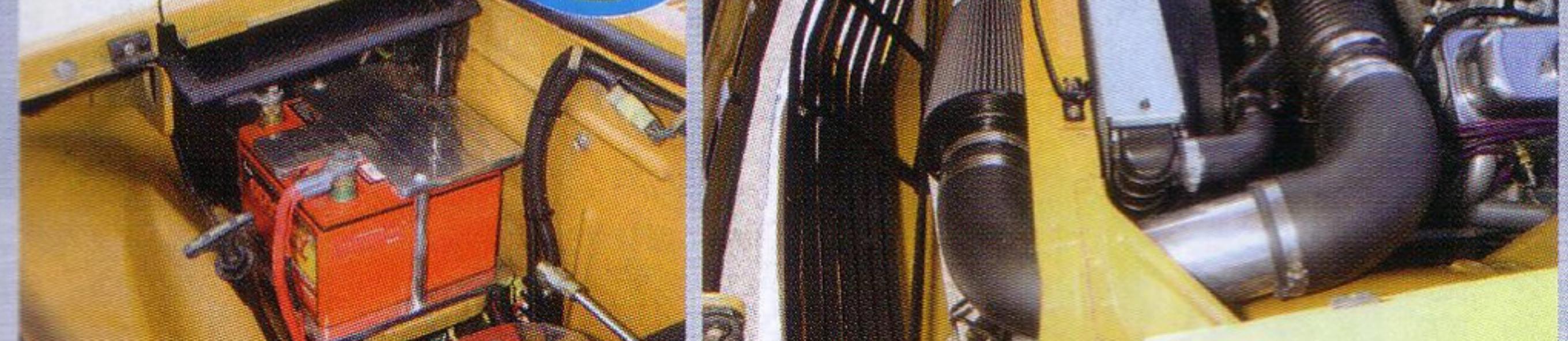
石川編集長の乗ってみなきやわかんねーゾ!!

カッコ良く、速くてなくてはならないチューニングカー。その姿を見ればカッコ良さはすぐに分かるけど、速さはエンジンの作りやバーツ選択、スペックなどで想像するしかない…それだけではイマイチ納得できない貴方へ、じゃ、乗つてみるか!! というノリで始まった“石川編集長の乗ってみなきやわかんねーゾ”コーナー、今月も話題なS30に乗ってきたのだ!!

**アメリカンV8 HLS30+V8の実力は!?**



## ENGINE



排気量に応じたサイズのラジエーターで冷却は万全。エンジンバーツはアメリカ製が多いけど、現車合わせで多くのバーツがワンオフ製作されている。左下の写真は左ハンドルなので、国内では逆の位置にバッテリー(ドライ)が置かれている



排気量が排気量なだけに極太なマフラーはステンレスのワンオフ品。サイレンサーは小さめで迫力あるサウンド

二ヶ月連続の登場!  
張り切っていくぞ!  
どんなものだつて使ってみなさい!! どいつもの決まり文句が始まつてみました。そして試乗するクルマはロッキーオートのS30。オートサロンで展示してあったもう一台の黄色い方だ。

先月紹介したようにロッキーオートと言えば、S30やハコスカなどの車体を利用して、新型エンジンを搭載して普段でも使いやすく、かつ速いクルマを製作しているとしても有名。先月はその中でも最新&快適な装備、パドルシフトの240Zを紹介したけど、今月は同じ240Zでも逆車の240Z!! しかしながら240Zじゃあ~ないんですねえ~。そういう要望に応えているの

アメリカでは意外とメジャーなやり方?  
無論、L型を積んだS30、オリジナリティを追求したS30はとても魅力的だけど、人間という物はいろんな趣向の人がある。それはS30についても同じで、例えばエンジンを違う物にしたい、内装やシートを替えるたいといふ人もいる。そういう要望に応えているの

がロッキーオートだ。先月も紹介したように快適装備を追加したり、RBエンジンに換装して使い勝手の向上や動力性能も普通に使いつつ、速いクルマ作りをしているショップだ。

そのようなクルマからまた一つ、趣向の違うクルマを作っている。それがロッキーオートだ。先月も紹介したように快適装備を追加したり、RBエンジンに換装して使い勝手の向上や動力性能も普通に使いつつ、速いクルマ作りをしている

石川編集長の  
乗ってみなきゃ  
わからんねーゾ

愛知・ロッキーオート  
昭和47年式フェアレディZ  
HS30改

# Making of ROCKY AUTO



SIDE

サイドに入ったメッキモール一つで、これだけ雰囲気が変わるものか!?と思わせるほどアメリカンクラシック的雰囲気になったサイドビュー



FRONT ← REAR



前後にオーバーライダーが残されていることも左ハンドルのS30と言うもの分かるし、残しているというのも雰囲気を変えるいい手段となっている。イメージ的な物が大きいけど、このカラーリングも全体のイメージとも合致している

ミッションは「フルベット」。かなり剛性の高い、ストロークの短いシフトレバーを1速に入れるといよ発進。軽いクラッチをミートするといとも簡単にスタート。恐る恐るアクセルを踏み込んでいくと、スルスルと加速していく。

ガツンと来るトルクを想像したが、意外や意外、それほどの物は感じない。これはファインアルなどキャラクターのマニアックな速さではない。そのままアクセルを踏み込み、2速、3速、4速とシフトアップ。もうこの時点では速度が出てきた。だが、試しにアクセルを踏んでみると、この時、余りのトルクで驚いた! まるで発進の時の

## 選択肢が増えるクルマ選び

よつに回転が上がり、速度も見る見る上がりしていく!! この時初めてこのエンジンのトルクの凄さに驚いた!! まさに鬼トルク!! 車体の軽さも効いているのだろうが、この加速の仕方はもう想像以上

の領域。本家のアメ車でもここまでグライドに行かないのではないか? と言つほど、高いギヤでの加速の仕方は異常!! まさに街中では4速に入れていればすべての速度域をカバーしそうなほど。それではと4速のままでじわるじわと1000rpm以下でブレーキを踏んでみた。普普通ならストール気味になるが、エンストしたりガクガクしたりするけど、このS30は何もなかつたよう

に、しかも鬼のように加速していく!!

これがナチュラルトルクがあつたり、アメリカンV8と聞くと高回転は弱そうなイメージがあるけど、ロードを走らへしとと思うよつに高回転までキレイに回っていくし、トルクも付いてくるのがポイント。

前回乗ったRB25+ターボのように高回転まで気持ちよく回るクルマもありだけど、このトルクフルを感じたら、こちらも面白い。やはり低速トルクのあるクルマ、グリップ感覚でいく車は面白いし、乗っていて楽しい!! と再認識させられたのでした♪

## ロッキーオート



左の向田さん(右)と今後の計画についてくれたロッキーオート渡辺社長。今年も見逃せない存在だ



今回紹介したアメリカンV8を搭載したフェアレディZはもちろん、RB20、RB25、RB26エンジンを搭載したZ、ハコスカからフルオリジナルのハコスカGT-RやケンメリGT-Rなど旧車なら殆ど揃ってしまうロッキーオート。しかも程度の良いモノが全国から集まってるのだ。在庫車はショールームの様の展示コーナーから第一、第二まであると言うからきみの要望に合ったクルマがきっと見つかるはずだ

愛知県岡崎市明大寺町 TEL0564-58-7080



エンブレムといい、サイドのモールといい、カラーリングとちょっと今までと違った雰囲気のロッキーオートHS30改アメリカンV8 5.7リットル。改造車好き、旧車好きなどのジャンルと合わせ、今までどう層を引きつけるのにも充分な魅力があるのは確かだ



ピタローニミラーと言う選択も○。マッシュプなスタイルにもこのようなアメリカンチックなスタイルにも合うのがこのミラーの不思議なところ